

国立がん研究センターと日本歯科医師会による がん患者のための歯科医療連携体制を構築する協働での取組を開始

今般、国立がん研究センターは、がん治療における口腔ケアや歯科治療が、より質の高いがん治療を提供するために重要な支持療法であると考え、「口腔ケアや歯科治療をがん治療の一環として取り入れる」方針に達しました。

そこで国立がん研究センターは、日本歯科医師会と協働し、がん患者の方々の治療前の口腔ケアなどを地域の歯科医療機関に依頼して実施することを目的とした地域医療連携ネットワーク構築に向けた取組を年内に開始します。

○がん患者さんの口腔トラブル

がん治療に様々な口腔合併症が発症します。その発症頻度は高く、一般的な抗がん剤治療を行う患者の40%、大量に強い抗がん剤投与を行う骨髄移植治療の80%、口から喉の周囲の頭頸部がんの放射線治療では100%と報告されています（米国がんセンターの報告より）。また、頭頸部がん・食道がんのような侵襲の大きい手術では、局所合併症や肺炎が高い頻度で起こることが分かっています。口腔ケアががん患者に適切に行われると、このような口腔トラブルの症状を軽減したり、その発症のリスクを低くすることが報告されています。

○国立がん研究センターの現状

国立がん研究センターは49年の歴史をもちますが、がん治療中に口腔内におこる問題に対する体制が必ずしも十分ではない状況がありました。口腔の問題は、患者の療養生活の質に大きな影響を与えるものの、生存率等のがんの治療成績に直結するような問題ではないと広く考えられていたためであり、これまでは口腔の問題に重点が置かれていなかったことによります。

しかし、2006年に成立したがん対策基本法の基本理念の一つとして「がん患者の置かれている状況に応じ、本人の意向を十分尊重してがんの治療方法等が選択されるようがん医療を提供する体制の整備がなされること」が掲げられ、がん患者の療養生活の質に重点を置き、がん患者が安心して医療を受けられる体制を整備することが急務となりました。

その体制整備の一環として、センターでは「口腔ケアをがん治療に導入することで、がん治療中の口腔内合併症を予防・軽減し、またがん患者の方々が安心して歯科治療や口腔ケアを受け、口から自然な形でおいしく食事がとることができる」ことを目標に、当院の歯科スタッフ（歯科医師常勤1名、非常勤歯科衛生士1名）が対応を行っております。しかし、600床の病院に入院するがん患者が抱える口腔の問題のすべてに、的確に対処していくことをセンター

2010年8月31日

独立行政法人 国立がん研究センター

社団法人 日本歯科医師会

内だけで完結を目指すことは困難な状況にありました。そのため、地域の歯科医療機関の方々と協働することでこの課題を解決すべく、今回、合意に達した「がん患者歯科医療連携」の構想に至りました。

○患者の方々が居住する地域の歯科医療機関が連携で支援

国立がん研究センターは、がん治療における口腔ケアや歯科治療が、より質の高いがん治療を提供するために重要な支持療法であると考え、日本歯科医師会と協働して、がん患者の治療前の口腔ケアなどを地域歯科医療機関に依頼して実施していきます。

まず全身麻酔手術を初めて受ける予定のがん患者（年間約4,000名）のうち、関東圏（千葉県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県）に居住する患者を対象にします。

この取組の開始にともない、関東圏5つの歯科医師会会員に対し連携講習会が、本年9月から12月に開催されます。この講習会は、国立がんセンター医師や、がん専門病院に勤務する歯科医師が中心になり、歯科医師会会員にがん患者の病態と治療、そしてがん治療と歯科治療との関係など、有益な情報を提供していく予定です。

○本取組の将来展望

本取組は、2年間ごとに関東圏の医療連携による成果を評価・確認し、将来的には、全国のがん診療連携拠点病院と都道府県歯科医師会との連携に拡大していくことを目指しております。

平成21年及び22年度は、センターと関東圏の歯科医療機関との連携モデルの構築を目標とします。続いて平成23年度を目標に、北海道・東北、関東、東京、東海・信越、近畿・北陸、中国・四国、九州の各地域で、1つ以上の都道府県がん診療連携拠点病院と地域歯科医療機関の連携体制の整備を支援してまいります。

最終的には、平成25年度を目標に、全国のがん診療連携拠点病院（平成22年4月現在 377施設）と地域連携歯科医療機関の連携体制の構築を推進していくことを目指します。

プロフィール

○国立がん研究センター

独立行政法人国立がん研究センターは、がんその他の悪性新生物に係る医療に関し、調査、研究、技術開発、医療の提供等を行う日本の独立行政法人。2010年4月1日に厚生労働省所管の施設等機関であった旧国立がんセンター

2010年8月31日

独立行政法人 国立がん研究センター

社団法人 日本歯科医師会

から独立行政法人へ移行した。

「All Activities for Cancer Patients（職員の全ての活動はがん患者の為に）」の新標語のもと、がん患者に生じるすべての医学的、心理的、社会的問題等を解決するため、センターの全ての医師、看護師、研究員、事務職員が国民・患者の方々の目線で業務に携わっている。

○日本歯科医師会

歯科医師によって構成される社団法人。会員数約65,000名。全国47都道府県に都道府県歯科医師会を組織している。2006年より大久保満男会長就任後、「生きる力を支える歯科医療。食と会話という人が社会的機能を営むために最も必要な役割を果たしているのが口と歯である」という考え方のもと、それを使命として歯科医療を担うと宣言し、その新しい形を国民に提供する活動をおこなっている。

本件のお問い合わせ先

○独立行政法人 国立がん研究センター

総務部総務課広報係

東京都中央区築地五丁目1番1号

電話 03-3542-2511(内2137) ファックス 03-3545-3567

○社団法人 日本歯科医師会

地域保健課

東京都千代田区九段北4丁目1番20号

電話 03-3262-9211 ファックス 03-3262-9885